

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 19 年 11 月 29 日 (2007.11.29)

【公開番号】特開 2006-141903 (P2006-141903A)
【公開日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)
【年通号数】公開・登録公報 2006-022
【出願番号】特願 2004-339711 (P2004-339711)
【国際特許分類】

A 6 1 B 8/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 8/00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 16 日 (2007.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体に超音波を送信し、該被検体からの反射エコー信号を受信する超音波送受信手段と、該受信信号を画像処理して超音波画像を形成する手段と、前記形成された超音波画像を表示手段に表示させる制御手段と、を備えた超音波診断装置において、

前記被検体の音声を入力する入力手段と、

前記入力された音声を文字情報として認識する音声認識手段と、を備え、

前記制御手段は、前記認識された文字情報に基づいた所見情報を生成し、該生成された所見情報と前記超音波画像と共に前記表示手段に表示させることを特徴とする超音波診断装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記所見情報の表示領域と前記超音波画像の表示領域とが重ならない位置となるように前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 1 に記載の超音波診断装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記所見情報と前記超音波画像とを対応付けて記憶手段に記憶させ、前記対応づけられて記憶された前記所見情報と前記超音波画像とを前記記憶手段から読み出して前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の超音波診断装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記超音波画像が動画像であり、該動画像に前記所見情報を対応させて前記記憶手段に記憶させ、前記対応づけられて記憶された前記所見情報と前記動画像とを前記記憶手段から読み出して前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の超音波診断装置。